

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		高校生までの子どもの読書への関心を高め、読書習慣を形成する。							
指標Ⅰ	指標名	読み聞かせボランティア養成講座の参加者数						指標の種類	
	指標式	参加者数						☐ 成果指標 ☒ 業績指標	
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			130	130	130	130	130	
	実績b			②データ等の出典					
	東 北 全 国			生涯学習課調べ					
③把握する時期 ☒ 当該年度中 10 月 ☐ 翌年度 月 ☐ 翌々年度 月									
指標Ⅱ	指標名							指標の種類	
	指標式							☐ 成果指標 ☐ 業績指標	
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指 標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
	東 北 全 国								
③把握する時期 ☐ 当該年度中 月 ☐ 翌年度 月 ☐ 翌々年度 月									
◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
①指標を設定することが出来ない理由									
②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性									
人生を豊かに生き、社会に貢献していくために、読書によって培われる読解力等は必要な力であり、将来の地域の読書活動を担う高校生等の若い世代への取組を推進する必要がある。									
住民ニーズに照らした事業の必要性									
生涯にわたって読書に親しむためには、10代までに読書への関心を高め、読書習慣を形成する必要性が増大している。									
事業の県関与の必要性									
☐ 法令・条例上の義務 ☐ 内部管理事務 ☐ 県でなければ実施できないもの									
☒ 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの									
市町村を超えた広域な範囲で実施することによる効率性や、図書館や学校等の関係機関と連携した事業実施のコーディネートのためにも県が関与する必要がある。									
政策評価委員会意見							重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定		
							☐ 重点事業 ☐ その他		